




地質サイトカード

カードNo.	A-①-1	通しNo.	1	作成日	2025/3/10
サイト名	ひのみきき ちゅうしようせつり 日御碕の柱状節理				
基本情報	エリア	島根半島 探訪サイト			
	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 地質・地形	<input checked="" type="checkbox"/> 生態	<input checked="" type="checkbox"/> 文化	
	利用価値	<input checked="" type="checkbox"/> 科学	<input checked="" type="checkbox"/> 教育	<input checked="" type="checkbox"/> 観光・ツアー	
	所在地	出雲市大社町日御碕			
	アクセス	山陰道 出雲ICから約20km、約30分 JR出雲市駅より日御碕行バス約60分の終点下車し、徒歩約3分 バス出雲大社正門前から約30分の終点下車し、徒歩約3分			
	周辺施設	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> 売店 <input checked="" type="checkbox"/> 飲食店 <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場(150台) <input type="checkbox"/> ウォーキングコース <input type="checkbox"/> サイクリングコース <input checked="" type="checkbox"/> 観光施設(日御碕灯台、ウミネコのいる経島、遊歩道あり)			
	看板整備	ジオパーク解説看板1枚設置			
	留意点	日御碕ビニターセンター所在地 2024.7の大雨で日御碕への県道が崩落。仮設道路が開通。			
保護・保全	法規制・関連団体等	大山隠岐国立公園			
	保全メモ				
サイトの解説	みどころ	流紋岩質溶岩の柱状節理と海成段丘面の上に立つ灯台			
	地質・地形	<p>日御碕では日本海に面して海食崖が発達し、ここではおよそ1600万年前に噴火した流紋岩を見ることができる。日御碕灯台の遊歩道沿いには流紋岩が最も厚く分布している。この流紋岩は径5～10cmの四～六角柱の柱を束ねたような柱状節理が発達している。これはドーム状に貫入したマグマが冷却するときに収縮して割れたもので、幾何学的な形状を示す。</p> <p>ここでは、標高10mから45mにかけて更新世に形成された4段の海岸段丘面が確認されている。標高34mの駐車場は段丘2面にあたる。出雲日御碕灯台は、標高25mの段丘3面に建ち、世界灯台100選や日本の灯台50選に選ばれた日本を代表する灯台である。日御碕の沖にある経島は、最も新しい段丘4面に相当し、ウミネコ繁殖地として国の天然記念物に指定されている。このような火山岩のなかにも泥岩層が僅かに分布し、侵食されて低地化した所に人々の生活空間を提供している。日の沈む西に開く谷地形のなかに日御碕神社は建てられている。</p>			
歴史・文化 生物・生態等	<p>出雲日御碕灯台は、1903(明治36)年に設置され、高さは43.65mと日本一の高さを誇る。海面から灯塔の頭上までは63.30mある。光度は48万カンデラで夜間約40km沖合まで達し、100歳を越えた今なお現役で海の安全を守っている。外壁は松江市美保関町から硬質の石材を切り出して使用した美しい石造り。内壁はレンガ造りで施され、外壁と空間をあけた特殊な二重構造となっている。</p> <p>その歴史や文化的な価値の高さから、1998(平成10)年に「世界の歴史的灯台百選」の一つに、2013(平成25)年に国の登録有形文化財に選ばれた。</p> <p>海岸付近には、特定植物群落である「日御碕海岸の崖地草本群落」がある。海岸の岩上に、絶滅危惧種であるテツホンダ、オオヤマジソの生育が知られている。</p>				
写真・図等					
参考文献	島根地質百選編集委員会編 島根の大地見どころガイド 島根地質百選, 今井出版; 出雲の山・川・平野・海岸				